

第2学年 JSL国語科 学習指導案

日時 令和4年2月8日(火) 第5校時
対象 第2学年 5名
会場 日本語学級③
授業者 T₁: 衛藤 景太
T₂:
T₃:

1 単元名 「この人をしょうかいします」(東京書籍 国語 第2学年 下)

2 単元の目標

国語科の目標

- 事柄の順序などの情報と情報との関係について理解することができる。
(知識及び技能)(2)ア
- ◎「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考
えることができる。
(思考力・判断力・表現力等)B(1)イ
- 「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書
き表し方を工夫することができる。
(思考力・判断力・表現力等)B(1)ウ
- 「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付ける
ことができる。
(思考力・判断力・表現力等)B(1)オ
- これまでに学習してきたことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しをもって、進んで簡単な
構成を考えて、身の回りにいる人を友達や先生に紹介する文章を書くことができる。
(学びに向かう力、人間性等)

日本語の目標

- 質問タイムで聞かれていることに対して、正対した答えを文で答えることができる。
- 5W1Hの視点で文章の内容を読み取ることができる。
- 「～がとくいな〇〇をしょうかいします」などの話型や文型を使って表現することができる。
- 「始め—中—終わり」や段落の一字下げなどの文の書き方に気を付けたり、誤りがないか読み直したりし
て、紹介文を書くことができる。
- 身の回りの人を紹介する活動に興味をもち、日本語を使って進んで活動に参加することができる。

※「質問タイム」とは、物語を読む際や日記を書く際に5W1Hに注目させるために行う教師と児童の問答
のことです。校内研究の手立てとして独自のネーミングで設定しました。

3 本時の指導

(1) 本時の目標

国語科の目標

構成を考えて、身の回りの人のことを紹介する文章を書くことができる。

日本語の目標

- ・質問タイムで聞かれていることに対して、正対して文で答えようとするすることができる。
- ・「始め—中—終わり」や段落の一字下げなどの文の書き方に気を付けたり、誤りがないか読み直したり
して、紹介文を書くことができる

(2) 本時の展開

時間	□主な学習活動	○指導上の留意点	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> [評価規準] 評価方法 ・概ね満足できる児童 </div> ☆主な手立て
読む	□前時の活動を思い出し、学習のめあてをつかむ。	○前時に作成した、紹介したい事柄を書いたカードを配り、誰の・どんなことを誰に向けて紹介するのかを思い出させる。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 書く じゅんばんを 考えて、 しょうかい文を 書こう。 </div> □学習の流れを確認する。 □「質問タイム」を通して2つのモデル文を読み比べて「始め・終わり」の共通する内容を読み取り、自分のカードを並べて構成を組み立てる。 T：2つの文章の「始め」では、どんなところが同じですか。 C：「なにがとくいか」／「だれをしょうかいするのか」が同じです。 T：自分のカードの中からも見付けて、机の一番右に置きましょう。 □「質問タイム」を通して「中」の文章の書き方を読み取り、自分の文章の構成を考える。 T：先生の文章の②の中ではどんな言葉が繰り返し出てきますか。 C：「れんしゅう」が繰り返し出てきます。 T：つまり、②には何のことが書いてありますか。 C：②には、練習のことが書いてあります。 ・同様に、③は「速い泳ぎ方」のことが書かれていることを確認する。 T：「中」は「事柄ごとに分けて」書いてあります。自分のカードも、事柄ごとに分けて並べましょう。	○「カードをならべる・しょうかい文を書く・はっぴょう・ふりかえり」の流れを確認する。 ○2つのモデル文の共通点を探させ、「始め・終わり」にはそれぞれどのようなことを書くのかを読み取らせる。 ・始め：どんな人を紹介するのか。 ・終わり：気持ちや思ったこと。 ○単語で答えている場合は、文で言い直させる。 ○「中」は、内容のまとまりごとに段落が分かれていることを読み取らせる。 ○話型「～には・・・が書いてあります。」を掲示する。	
書く	□並べ替えたカードを基に、紹介文を書く。	○前時に確認した「書くときに気を付けること」を掲示し、意識させる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 【聞く・話す①】 観察 質問タイムで聞かれていることに対して、正対して文で答えている。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 【思・判・表】 ①ワークシート 「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 </div> ☆構成や書く際にT ₂ とT ₃ により個別の支援を行う。
伝え合う	□参観している教師に向けて発表する。	○発表のための話型「これから、はっぴょうをします／これで、はっぴょうを終わります」を提示する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【書く①】 ワークシート 「始め—中—終わり」や段落の一字下げなどの文の書き方に気を付けたり、誤りがないか読み直したりして、紹介文を書いている。 </div>

	<p>□学習の振り返りをする。 C:じゅんばんを考えて、紹介文が書けました。</p>	<p>○振り返りの時に使う話型・文型を掲示し、めあてに立ち返らせ、今日の学習を振り返らせる。</p>	
--	--	--	--

(3) 板書計画

ホワイトボード1

二月 八日 火曜日 晴れ

学習の流れ

めあて

書くじゅんばんを考えて、しょうかい文を書こう。

〇書くじゅんばん

はじめ

・なにがとくいか。
・だれをしょうかいするのか。

中

・ことがらごとに分けて書く

終わり

・気持ち

まとめ

先生たちに はつびょうを しよう。

ふりかえり

・じゅんばんを考えて、しょうかい文が書けました。

・これから、はつびょうをします。
・これで、はつびょうを終わります。

ホワイトボード2

書くときに気をつけること

- ① はじめ・中・終わりで書く。
- ② だんらくのさいしよは一字下げる。
- ③ 書いたら読みなおす。

パネル

教科書のモデル文を掲示

教師作成のモデル文を掲示

(4) 掲示するモデル文

①教科書のモデル文

教科書のモデル文を掲示

②教師作成のモデル文

わたしの妹を しょうかいします

しまぎきのぞみ

① わたしは、水えいがとくいな、わたしの妹を
しょうかいします。

② 妹は、毎日水えいのれんしゅうをします。

家の近くのスイミングスクールでれんしゅうを
します。

③ 妹は、いろいろなおよぎ方ができます。とくに
クロールやひらおよぎがはやいです。水えいの
大会で何回も一番をとりました。

④ わたしは、水えいがんばっている妹がすごいと
思います。わたしも、妹のように目ひょうをもつて
がんばりたいです。

(5) ワークシート

めあて 書く じゆんばんを 考えて、 しょうかい文を 書いて。

Blank writing area with horizontal dashed lines for text entry.

ふりかえり

Two horizontal lines for reflection or feedback.